

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

2020年 3月 21日作成 Ver1.1

研究課題名	水疱性類天疱瘡の病態解明を目指した多施設共同研究
研究の対象	水疱性類天疱瘡の患者さんで、2003年4月1日から2023年3月31日までに、水疱性類天疱瘡の診断目的等で皮膚生検あるいは採血を受け、研究目的での検体の保管に同意された方
研究目的 ・方法	水疱性類天疱瘡の発症機序を解明することを目的とします。 水疱性類天疱瘡患者さんの症状、自己抗体などの検査結果、治療経過の情報を収集し、治療の効果を検証します。また、採取した血液や組織を使用し、発症する機序について検証します。
研究期間	西暦 2019年 8月 8日 ~ 西暦 2023年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	研究に用いる資料は、日常診療で検査済みの血液や組織の残りの検体になります。研究に用いる情報は、年齢、性別、身長、体重、家族歴、既往歴、診断名、治療内容、臨床所見、臨床写真、病変の面積、血液検査結果などの情報を利用させていただきます。
外部への 試料・情報の 提供	当院のデータについては、匿名化の状態の主機関である北海道大学病院皮膚科研究代表者へ電子的配信で送付されます。匿名化された臨床情報（年齢、性別、皮膚症状、治療内容等）は主機関である北海道大学病院皮膚科で解析が行われます。 また、当院で採取された血液や組織についても匿名化の状態の主機関である北海道大学病院皮膚科へ郵送されます。匿名化された検体は主機関である北海道大学病院皮膚科で解析が行われます。 データを研究に使用する際には、研究用の番号（識別番号）を付けて取り扱います。識別番号を結びつけるものとして対応表と呼ばれるものを作成します。その対応表及びその他の情報等を電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで、横浜市立大学附属病院皮膚科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。このパソコンが保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。本研究によって得られた情報も対応表と同様に管理します。 本研究に関する文書および記録（倫理委員会の記録など）は、横浜市立大学附属病院皮膚科で 少なくとも、研究の終了について報告された日から5年が経過した日まで、検体は10年が経過した日までの期間、適切に保管します。また、保存期間終了後に廃棄する際は、パソコン上で保存している情報については保存しているパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	横浜市立大学附属病院 皮膚科 助教 金岡美和 他 13 施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 皮膚科 （研究責任者）金岡 美和 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-0243 研究代表者：北海道大学病院 皮膚科 泉 健太郎</p>	